

政務活動費成果届出書

届出者 小栗 佳仁

○使途項目 (○をつける) **調査研究**・研 修・広 報・資料作成・資料購入

○タイトル

ひきこもり実態調査、アプローチ、支援の方法についての調査研究

○目 的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

ひきこもりの支援と問題の本質を学び、半田市のひきこもり予防と支援策に結び付ける。

1. 宇部市 NPO 法人 「ふらっとコミュニティー」

① 問題の本質から親を変える「宇部モデル」を調査研究する。

1回2時間×6回の基礎プログラムや、月1回の家族心理教育(実践編)を行ない、ひきこもる子供への対応法を親に教え、共に学び合う機会を作っている。

2. 岡山市 NPO 法人 「リスタート」

① ひきこもり、ニート、不登校、家庭内暴力などで悩む18歳以上の方から30代、40代以上の方達を中心に、半年から1年ほどの短期間で自立できるような支援を学ぶ。

② 公的機関などでの支援が成功しなかった方への対応について調査研究する。

以上、半田市では、実態把握・対策など根本的なところから施策として実施されていないのが現状でした。市内のひきこもりは1,100人と推計できることから、一人でも多くの活躍の場にでられるような支援を調査研究し、当市の施策に活かしたい。

また、ひきこもり・ニートの一つの原因となる不登校対策を学び、当市に活かす。

○結 果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

【目標は達成できた】

○宇部市のひきこもり相談事業⇒委託 NPO 法人 「ふらっとコミュニティー」

委託料：8百万円(令和元年度)←3百万円(平成27年4月1日)

体制：責任者1名(山口大学医学部山根教授)、常勤3名、非常勤1名

事業：ひきこもり相談窓口、家族支援、訪問支援、居場所設置(資格取得)、就労準備支援

実績：相談件数718件、家族心理教育432人などにより復職復学13名

課題：一定の実態把握(ふらっとコミュニティー)はできたが、行政として実態把握(令和2年度実施)に向けて民生委員と協議中。ふらっとコミュニティーの人材育成

①宇部市は課題を実態把握と相談窓口と捉え、令和2年度に実態把握します。

また、福祉なんでも相談窓口を市内15か所や民生・福祉委員さんによる情報収集などを行っている。その他、保健センターや24学区で相談を受けるなど不登校の相談も実施し、NPOと連携した取り組みを行っている。

②相談に訪れて頂くためにマスコミ・SNSなどでPRしたことにより、H27年度82件だった相

	議長	管理委員長
確認欄		

愛知県
半田市役所
02.2.12
31 半議第 927-1 号
受付

談件数が、H30年度718件と宇部市推計値の約50%になっていた。

③個人病院後を活用し、社会性を育てる人間関係づくりや資格取得などを実施している。事業所の受入れは、事業所側からの求人があるなど事業者との関係も構築していた。

④家族が社会から孤立しないように支援者や家族会と繋がり気持ちを楽にする。叱咤激励の圧力や先回りではない、ポジティブな対応の仕方を学ぶ「ひきこもり家族心理教育」により家族の関係性を変化させている。(ひきこもりになる本質を分析していた)

○岡山市 NPO 法人「リスタート」(当初は、委託・補助金を頂いていたが、縛りが多い)

体制 : 心理士4名、就労6名、学習4名、暴力4名など常勤6名とスポン含め非常勤20名

事業 : H8年に不登校の相談を受けた事が事業の始まり。

実績 : ひきこもり(精神的)50件、ひきこもり(社会的)120件、ニート状態120件、不登校100件の相談があります。他にも無料の学習支援(岡山大学の生徒による)

課題 : 行政で対応できない深夜・休日にも対応でき、年齢層別のスタッフが必要

①開設当初は、不登校支援を1996年から自主事業としてスタートし、その後は補助金・助成金などを頂きひきこもり支援などもおこなってきましたが、深夜時間帯の面談や社会復帰方法など制約が多かったことから、2014年からは行政で対応できない方を対象(行政と基本的にスタンスが違う)にしていた。

②対象者が一番フランクな場所・時間などに積極的訪問から判断(心理士)して、生活を独立させ、お遍路(心理士)やアルバイト(ジョブコーチ)を共にこなうなど、社会復帰を3か月から1年くらいでできるようにしていた。

③ひきこもり・ニート状態の家庭内暴力にも対応しており、時には警察と共に家庭訪問し面談を重ねることで、暴力から家族を開放している。この場合は社会復帰までには3年程度必要です。ひきこもりは早い段階での対応が必要で、自尊心のある部屋から出ない段階や仕事を探しているように見せかけている段階で、相談して頂けると社会復帰は早い。部屋へ閉じこもり⇒部屋に当たる⇒家を破壊⇒母親への暴力⇒父親への暴力へと進行する傾向がある。

④早期改善は、家庭から分離する「はがし」ですとの事で、ホームステイ・一人暮らし・お遍路等で、備わっていない点を見つけカバーできるように導いている。また、相対関係から絶対値での対応に努めていた。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

①実態把握を早期に実施し、長期ひきこもりにならないよう早期の対応ができる事業を行って頂きたい。委託事業として実施し、居場所(就労支援)や相談対応時間帯などの制限を考慮した補助金の在り方についても検討する必要がある。

②宇部市のように福祉なんでも相談窓口(横の連携)を市内に設け、親兄弟が気軽に相談できるようにして、早期に社会復帰できるようにする。

③ひきこもりの未然防止の一つとして、ニート状態・不登校も並行して事業展開すること。

④心理士やジョブコーチ・学習支援などのスタッフが必要で、人材育成に力を入れる必要。

⑤事業展開には、山根教授などを招いての講演やアドバイスを受けると有効

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

--

確認欄	議長	管理委員長

○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容	金額 (円)	領収書 No.
1月15日	06:48~11:35	JR 乙川~JR 琴芝 (JR 武豊線~新幹線~JR 山陽本線~JR 宇部線) 名古屋~新山口 (のぞみ3 号)	18,650 19,600 6,450 6,250	①
	11:35~13:00	JR 琴芝~昼食~宇部市役所 (0.8 km)		
	13:00~15:00	宇部市役所視察 (1,300 円/2名)	650	②
	15:00~15:15	宇部市役所~ JR 琴芝		
	15:31~17:32	JR 琴芝~JR 岡山 (JR 宇部線~JR 山陽本線~新幹線) 新山口~岡山 (のぞみ 46 号)	4,190 3,940	①
	17:32~17:40	JR 岡山~ホテル		
		岡山グリーンホテル	5,380	③
1月16日	9:30~ 9:45	ホテル~NPO 法人リスタート (0.75 km)		
	10:00~12:00	NPO 法人リスタート視察 (1,300 円/2名)	650	②
	12:00~12:15	NPO 法人リスタート~JR 岡山 (0.85 km)		
	12:15~13:15	昼食		
	13:20~16:08	JR 岡山~JR 乙川 (新幹線~ JR 武豊線) 岡山~名古屋 (のぞみ 26 号)	4,920	①
		合計	41,390	

令和2年 1月 27日

領収書等貼付用紙

議員名 小栗 佳仁

タイトル

ひきこもり実態調査、アプローチ、支援の方法についての調査研究

2枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

- ① JR 乙川⇄JR 琴芝 (往復乗車割引券)
名古屋⇒新山口、新山口⇒岡山、岡山⇒名古屋 (各のぞみ指定券)

領収書 No 531407	窓口 No 23 1	領 収 書	金額 ¥34,710円 [消費税等込み]
駅 No		領 収 者 小栗佳仁 様	但し、乗車券類として
上記金額唯かに領収致しました 2019年12月16日 東海旅客鉄道株式会社			
ご利用いただきましてありがとうございます			
印紙税申告納 付につき名古屋中村 税務署承認済		加納	現金出納社員
半田駅			

- ② 手土産代 (1,300 円 × 2 箱)

領収証

洋菓子・パン 様 R2年 / 月 / 日

¥2600

但
上記正に領収いたしました

内訳

税抜金額 _____

消費税額等 (%) _____

洋菓子・パン

シヤンポル

半田市岩滑中町3丁目194

代表者 早川 武美

電話 (0569) 22-8643

令和2年 1月 27日

領収書等貼付用紙

議員名 小栗 佳仁

タイトル

ひきこもり実態調査、アプローチ、支援の方法についての調査研究

2枚中 2枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

③ 岡山グリーンホテル宿泊代

領 収 書

No. 15953

2020年 1月15日

小 栗 佳 仁 様

¥5,380—

但し 御 宿 泊 代
上記正に領収致しました。

収 入
印 紙

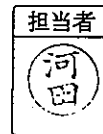
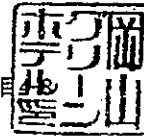
岡山グリーンホテル

〒700-0023

岡山県岡山市北区駅前町2丁目

TEL:086-225-7211

FAX:086-225-7214



不外予約割引 100円適用あり
(通常 ¥5,480 - 100)

政務活動費成果届出書

届出者 小出 義一

○使途項目 (○をつける) **調査研究**・研 修・広 報・資料作成・資料購入

○タイトル

ひきこもり実態調査、アプローチ、支援の方法についての調査研究

○目 的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

ひきこもりの支援と問題の本質を学び、半田市のひきこもり予防と支援策に結び付ける。

1. 宇部市 NPO 法人 「ふらっとコミュニティー」

① 問題の本質から親を変える「宇部モデル」を調査研究する。

1回2時間×6回の基礎プログラムや、月1回の家族心理教育(実践編)を行ない、ひきこもる子供への対応法を親に教え、共に学び合う機会を作っている。

2. 岡山市 NPO 法人 「リスタート」

① ひきこもり、ニート、不登校、家庭内暴力などで悩む18歳以上の方から30代、40代以上の方達を中心に、半年から1年ほどの短期間で自立できるような支援を学ぶ。

② 公的機関などでの支援が成功しなかった方への対応について調査研究する。

以上、半田市では、実態把握・対策など根本的なところから施策として実施されていないのが現状でした。市内のひきこもりは1,100人と推計できることから、一人でも多くの活躍の場にでられるような支援を調査研究し、当市の施策に活かしたい。

また、ひきこもり・ニートの一つの原因となる不登校対策を学び、当市に活かす。

○結 果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

【目標は達成できた】

○宇部市のひきこもり相談事業⇒委託 NPO 法人 「ふらっとコミュニティー」

委託概要

委託料：8百万円(令和元年度)⇐3百万円(平成27年4月1日)

体制：責任者1名(山口大学医学部山根教授)、常勤3名、非常勤1名

事業：ひきこもり相談窓口、家族支援、訪問支援、居場所設置(資格取得)、就労準備支援

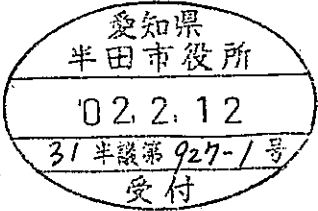
実績：相談件数718件、家族心理教育432人などにより復職復学13名

課題：一定の実態把握(ふらっとコミュニティー)はできたが、行政として実態把握(令和2年度実施)に向けて民生委員と協議中。ふらっとコミュニティーの人材育成

①宇部市は課題を実態把握と相談窓口と捉え、令和2年度に実態把握します。

また、福祉なんでも相談窓口を市内15か所や民生・福祉委員さんによる情報収集などを行っている。その他、保健センターや24学区で相談を受けるなど不登校の相談も実施し、NPOと連携した取り組みを行っている。

確認欄	議長・	管理委員長



②相談に訪れて頂くためにマスコミ・SNSなどでPRしたことにより、H27年度82件だった相談件数が、H30年度718件と宇部市推計値の約50%になっていた。

③個人病院後を活用し、社会性を育てる人間関係づくりや資格取得などを実施している。事業所の受入れは、事業所側からの求人があるなど事業者との関係も構築していた。

④家族が社会から孤立しないように支援者や家族会と繋がり気持ちを楽にする。叱咤激励の圧力や先回りではない、ポジティブな対応の仕方を学ぶ「ひきこもり家族心理教育」により家族の関係性を変化させている。(ひきこもりになる本質を分析していた)

○岡山市 NPO 法人「リスタート」(当初は、委託・補助金を頂いていたが、縛りが多い)

事業概要

体制 : 心理士4名、就労6名、学習4名、暴力4名など常勤6名とスポット含め非常勤20名

事業 : H8年に不登校の相談を受けた事が事業の始まり。

実績 : ひきこもり(精神的)50件、ひきこもり(社会的)120件、ニート状態120件、不登校100件の相談があります。他にも無料の学習支援(岡山大学の生徒による)

課題 : 行政で対応できない深夜・休日にも対応でき、年齢層別のスタッフが必要

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

宇部市では 山口大学の山根教授が理事長を務める NPO 法人ふらっとコミュニティーに事業委託していた。高い専門性を必要とする事業であり、的確な役割分担が必要である。

岡山市の NPO 法人リスタートは、公的な支援を受けると制約が多いとのことで、自立した運営をしていた。家庭内暴力にまで進展しているような深刻な状況を打開するためには、既存の運営方法ではできない。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

--

確認欄	議長	管理委員長

○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容	金額 (円)	領収書 No.
1月15日	06:48~11:35	JR 乙川~JR 琴芝 (JR 武豊線~新幹線~JR 山陽本線~JR 宇部線) 名古屋~新山口 (のぞみ3 号)	運賃 (往復) 指定席 19,600 6,250	①
	11:35~13:00	JR 琴芝~昼食~宇部市役所 (0.8 km)	徒歩	
	13:00~15:00	宇部市役所視察 (1,300 円/2名)	手土産 650	
	15:00~15:15	宇部市役所~ JR 琴芝	徒歩	
1月15日	15:31~17:32	JR 琴芝~JR 岡山 (JR 宇部線~JR 山陽本線~新幹線) 新山口~岡山 (のぞみ46号)	運賃 指定席 3,940	①
	17:32~17:40	JR 岡山~ホテル	徒歩	
		岡山グリーンホテル	宿泊 5,480	
1月16日	9:30~ 9:45	ホテル~NPO 法人リスタート (0.75 km)	徒歩	
	10:00~12:00	NPO 法人リスタート視察 (1,300 円/2名)	手土産 650	②
	12:00~12:15	NPO 法人リスタート~JR 岡山 (0.85 km)	徒歩	
	12:15~13:15	昼食		
	13:20~16:08	JR 岡山~JR 乙川 (新幹線~ JR 武豊線) 岡山~名古屋 (のぞみ26号)	運賃 指定席 4,920	①
			合計 41,490	

令和2年 1月 27日

領収書等貼付用紙

議員名 小出 義一

タイトル

ひきこもり実態調査、アプローチ、支援の方法についての調査研究

2枚中 2枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

③ 岡山グリーンホテル宿泊代

領 収 書

No. 15954

2020年 1月15日

小 出 義 一

様

¥5,480-

但し 御宿泊代
上記正に領収致しました。

収 入
印 紙

岡山グリーンホテル

〒700-0023

岡山県岡山市北区駅前町2丁目

TEL:086-225-7211

FAX:086-225-7214



担当者

河田

ネット予約をしたが、割引プランが売り切れであったため
通常価格で宿泊